

「あこがれの自分を目指して ～共に歩む！一人でも翔ぶ！～」

平成29年度 柳津町立西山中学校

学校だより

平成29年10月27日(金)発行 第 27 号 発行責任者:高橋 弘悦

起きた超新星爆発！

平成29年度西山中学校文化祭



最後の文化祭が終わりました…。最後の文化祭にふさわしい文化祭とは…。生徒たちには意識しなくてものしかかってくる重いプレッシャーがあったことと思いますが、それを見事にはねのけ、素晴らしい文化祭にすることができました。



ただでさえ忙しい西山中学校にあって、「いつこんなものを準備する時間が合ったのだろう…」 「このエネルギーはどこから来るのだろう…」 全校生12名とは思えない多彩な内容とクオリティの高さは、どこに出しても驚きをもって称えられる素晴らしい文化祭でした。保護者の方々、地域の方々の献身的なご協力にも心から感謝申し上げます。



デイサービス慰問

24日、柳津デイサービスセンターで慰問を行いました。これは、デイサービスを利用されている方々が西山中学校が今年度いっぱいまで閉校になることを聞き、「12名の歌声を聴きたい」と強く希望されたことから実現した企画です。

文化祭直後ではありましたが、急遽「皆さんと一緒に歌える歌」も加え、精一杯歌ってきました。涙を流しながら聞いてくださるお年寄りもおられ、生徒も感動していました。

デイサービスセンターの皆さんからは、お礼として手作りの「校章」をいただきました。



授業に本腰を入れます

文化祭も終了し、いよいよ学習に本腰を入れなければならない時期となりました。もちろん生徒ばかりではなく、教員も授業の充実を図っていきます。

25日、1年生を対象に研究授業を実施しました。1年生の授業態度は大変すばらしいものでした。この調子で学習にも力を入れてほしいと思います。



文化祭を終えて ～感謝～

平成29年10月24日集会

先週の文化祭、大変ご苦勞様でした。時間のない中、ビックリするぐらい大変高いクオリティの文化祭を実施してくれたことに心から感謝します。

一人何役の役割を演じているんでしょう？しかもそのひとつひとつがとても完成度が高い。これだけの文化祭ができる学校はそうあるものではない、と強く思いました。

保護者の方がこれほど協力してくださる学校もない。先生方があそこまで関わる学校もない。この学校の一員であることに心から喜びを感じました。

私もかつていろいろな学校で文化祭を実施してきました。文化祭には思い入れがある教員の一人と思っています。よそのクラスがやらなくても、合唱、学級展示、演劇は必ず入れるよう、自分のクラスには要求していました。「なぜウチばかり…」という不満がないわけではありませんでしたが、これだけは譲れない線…と聞き入れませんでした。

文化祭を実施する意義にはいろいろあります。実施するまでには、克服すべきさまざまな困難があるので、準備の過程でイライラして、生徒たちの間に不穏な空気が流れます。衝突もいろいろなところで生まれます。そうはいっても「いいものをつくらなければならない」という共通の目的があるために、最後は一つにまとまり、文化祭の前と後では、一体感がまるで違ってきます。だからこそ、文化祭はとても重視していたし、生徒たちには出るだけにとどまらない、過大な要求をしてきました。先日の文化祭は、そう考えている私が、期待する以上のクオリティと内容だったと思います。

いよいよ大きな行事が終わってしまい、次は総仕上げの時期となります。以前、あいさつの上手な学校を目指すこと、そしてややおろそかになりがちだった学習に力を入れなければならないということをお話ししました。今後は、文化祭に向けていたエネルギーをこれらに振り向け、最後の花を咲かせましょう。皆さんの頑張りに期待しています。